

記入見本

(表)

介護給付費・訓練等給付費・特定障害者特別給付費・地域相談支援給付費支給申請書
兼利用者負担額減額・免除等申請書

(宛先)箕面市福祉事務所長

申請年月日

マイナンバー(個人番号)を
ご記入くださいサービス利用開始日
に、利用者が18歳以
上の場合は、利用者の
氏名等、18歳未満の
場合は保護者氏名等を
ご記入くださいミノオ タロウ
箕面 太郎個人番号
生年月日 昭和55年4月1日マイナンバー(個人番号)を
ご記入ください〒562-0014
箕面市萱野5-8-1

電話番号 072-727-9514

サービス利用開始
日に、利用者が18
歳未満の場合の
み、利用者(児
童)の氏名等を
ご記入くださいミノオ モミジ
箕面 もみじ個人番号
生年月日 平成25年4月1日
続柄就労継続支援を申請する場
合は、障害基礎年金1級の
有無に○をつけてください療育手帳
番号
基礎年金1級の受給の有無(就労継続
支援) 有 無

サービス利用の状況	障害福祉関係サービス	障害支援区分の認定	有・無	非該当	期間
	利用中のサービスの種類と内容等 ※現在ご利用中のサービスをご記入ください(例:身体介護、生活介護 等)				
介護保険サービス	要介護認定	有・無	要介護度	要支援()	要介護 1 2 3 4 5
	利用中のサービスの種類と内容等 ※現在ご利用中のサービスをご記入ください(例:訪問介護、通所介護 等)				
申請するサービス	区分	サービスの種類			申請に係る具体的内容
	訪問系	介護給付費		訓練等給付費	※共同生活援助について ①希望する事業者の種類 ※いずれかを選択 ☐ 指定共同生活援助事業所 ☐ 日中サービス支援型指定共同生活援助事業所 ☐ 外部サービス利用型指定共同生活援助事業所 ②入浴、排せつ又は食事等の介護の提供について ☐ 希望する ☐ 希望しない ③サテライト型住居の利用意向 ☐ 有 ☐ 無
		☐ 居宅介護		☐ 就労定着支援	
		☐ 重度訪問介護		☐ 自立生活援助	
	日中活動系	☐ 同行援護		☐ 就労選択支援	
		※共同生活援助(グループホーム)を申請する場合は、希望する事業所の種類及び入浴等の介護の提供を希望するか否か、サテライト型住居の利用意向等をご記入ください。		訓練(生活)型自立訓練	
				移行支援	
	居住系	☐ 施設入所支援		☐ 就労移行支援(養成施設)	
				☐ 就労継続支援A型	
				☐ 就労継続支援B型	
地域相談支援	☐ 地域移行支援		☐ 共同生活援助(グループホーム)※		
	☐ 地域定着支援				

利用を希望するサービスに
チェックをしてください

私は、利用者負担上限額等の決定に必要な場合、箕面市福祉事務所長が私及び私と同一住所にある者の所得及び資産並びに介護保険利用状況について調査することに同意します。また、サービス等利用計画又は個別支援計画の作成に必要な場合、障害支援区分認定に係る認定調査・概況調査の内容、サービス利用意向聴取の内容、市町村審査会の審査判定結果・意見及び医師意見書の全部又は一部を、箕面市から指定特定相談支援事業者、障害福祉サービス事業者、指定障害者支援施設又は指定一般相談支援事業者へ提供すること並びに箕面市が転入前市町村から取り寄せることに同意します。

最上部の申請者と同一者氏名
をご記入ください

申請者(保護者)氏名 箕面 太郎

(裏)

主治医(※)	主治医の氏名		医療機関名	
	所在地	〒 電話番号		

(※)主治医の欄は、介護給付費、訓練等給付費(共同生活援助に係るものであって、入浴、排せつ又は食事等の介護の提供を受けることを希望する場合及び日中サービス支援型指定共同生活援助事業所の利用を希望する場合に限る。)又は地域移行支援(精神科病院(精神科病院以外の病院で精神病室が設けられているものを含む。))に入院している者に限る。)を申請する場合に記入すること。

申請する減免の種類	☐ I 負担上限月額に関する認定 次の区分の適用を申請します。 (当てはまるものに○をつける。いずれにも当てはまらない場合は、空欄とすること。) 1 生活保護受給世帯 2 市町村民税非課税世帯(※)に属する者 ※療養介護を利用する場合は、①又は②の当てはまる方にも○をつける。 ① 利用者本人の合計所得金額及び障害基礎年金等の収入の合計額が82万6,500円以下のもの ② ①以外のもの 3 市町村民税課税世帯(障害者：所得割16万円未満、障害児：所得割28万円未満)に属する者		
	☐ II 医療型個別減免に関する認定 次のいずれにも当てはまるため、医療型個別減免を申請します。		
	<table><tr><td>〈20歳以上の方〉 1 療養介護利用者であること(年令 才) 2 市町村民税非課税世帯の者</td><td>〈20歳未満の方〉 1 療養介護利用者であること(年令 才)</td></tr></table>	〈20歳以上の方〉 1 療養介護利用者であること(年令 才) 2 市町村民税非課税世帯の者	〈20歳未満の方〉 1 療養介護利用者であること(年令 才)
	〈20歳以上の方〉 1 療養介護利用者であること(年令 才) 2 市町村民税非課税世帯の者	〈20歳未満の方〉 1 療養介護利用者であること(年令 才)	
	☐ III 施設入所者(注)に対する特定障害者特別給付費(補足給付)に関する認定 次のいずれにも当てはまるため、特定障害者特別給付費を申請します。 (注) 対象施設は、介護給付費の対象となる入所施設(障害者支援施設)		
	<table><tr><td>〈20歳以上の方〉 1 施設入所者であること(年令 才) 2 市町村民税非課税世帯又は生活保護受給世帯の者</td><td>〈20歳未満の方〉 1 施設入所者であること(年令 才)</td></tr></table>	〈20歳以上の方〉 1 施設入所者であること(年令 才) 2 市町村民税非課税世帯又は生活保護受給世帯の者	〈20歳未満の方〉 1 施設入所者であること(年令 才)
〈20歳以上の方〉 1 施設入所者であること(年令 才) 2 市町村民税非課税世帯又は生活保護受給世帯の者	〈20歳未満の方〉 1 施設入所者であること(年令 才)		
☐ IV グループホーム入居者に対する特定障害者特別給付費(補足給付)に関する認定(家賃軽減措置) 市町村民税非課税世帯又は生活保護受給世帯に当てはまるため、特定障害者特別給付費を申請します。			
☐ V 生活保護への移行予防措置(自己負担減免措置、補足給付の特例措置)に関する認定 生活保護への移行予防措置(□自己負担減免措置 □補足給付の特例措置)を申請します。 ※福祉事務所が発行する境界層対象者証明書が必要となります。			

当てはまる減免制度がある場合は、チェックをしてください

いずれも、事実関係を確認できる書類を添付して申請すること。

申請書提出者	☐ 申請者本人 ☒ 申請者本人以外(下の欄に記入)		
氏名		申請者との関係	
住所	〒 提出者が、申請者と異なる場合は、氏名等をご記入ください		